

児童図書研究室だより

2009年9月

「ストーリーテリング」について

今年も7月に「夏休み小学生のためのストーリーテリングおはなし会」を実施しました。おはなしのへやが狭く感じられるくらい多くの参加がありました。

絵本の読み聞かせを聞くのも楽しいのですが、絵に捕らわれないストーリーテリングは、自分で自由に想像できるので、絵本とは違った面白味があります。また、ストーリーテリングで聞き慣れたお話が載っている本を読むことで、子どもの読書活動が、絵本から読み物へとスムーズに進む例もあるようです。

コミュニケーションという観点からも、注目すべきことがあります。「ひとの話をききながら、そこで語られるその人（主人公）になって、ひとのしたことを自分のしたことのように感じとる、すなわち、他の体験をわが体験とするということは、人類はじめて以来、どの民族でもしてきたことです。人間はそれをしないでは人間にならないのです。人間は自分のしたことをひとに言いたいし、ひとのしたことを聞きたいという、やむにやまれぬ衝動をもつものです。この人間の根源的欲求から生まれた行為がストーリーテリングで、その中で主人公といっしょにひとつの人生を生きることができるからこそ、その経験の共有が心に深いよろこびを与えるのだと思われます。」と、間崎ルリ子氏が『ストーリーテリング ― 現代におけるおはなし ―』（児童図書館研究会/発行 2004年改訂版）の中で著されているように、おはなし会でも、語り手と聞き手の間の一体感や、なんとも言えない寛いだ場の雰囲気を感じる人が多いです。

ストーリーテリングに関する本は、児童図書研究室ではなく、人文科学の図書館学の棚に配架されています。また、よく語られる昔話が載っている本は、児童の閲覧室の棚や書庫にあります。詳しくは、児童カウンターにお尋ねください。

児童図書研究室展示について

児童図書研究室の展示は、9月16日までは
バージニア・リー・バートンの展示です。



9月18日からは、「児童書で見る虫の世界」と
題して、先月亡くなった、熊田千佳慕さんの「ファール昆虫記の虫たち」や、
写真家の栗林慧さんによる「栗林慧ひみつの瞬間写真館」など、虫の本を絵や
写真に焦点を当てて展示する予定です。写真にひけを取らない写実的な絵、画
家の感受性によって息を吹き込まれたような生き生きとした描写、虫の生態を
正確・忠実を心がけて写した写真、芸術性の高い写真
など、本によって趣向が違うのが興味深いです。



虫は苦手という人も、児童書の虫の世界を比べて
みてください。(11月15日まで展示)

平成21年度ヨムヨム巡回展示開催について

本年度は、美作地区の巡回展示は、奈義町立図書館で行います。期間は、10月28日(水)から11月5日(木)までです。児童図書研究室の全点購入の児童図書1か月分を展示します。10月28日は、午後2時から、県立図書館司書によるミニ講座を予定しています。絵本や児童書に興味のある方は、ぜひご参加ください。

詳しくは、県立図書館児童カウンター、または奈義町立図書館に、
お問い合わせください。

岡山県立図書館 サービス第一課 児童資料班

〒700-0823 岡山市北区丸の内 2-6-30

tel (086) 224-1288

E-mail; libnet@libnet.pref.okayama.jp